

■ 2019年度 アジア歴史研究助成

	氏名	役職	所属	研究タイトル
1	小井川 広志	教授	関西大学商学部商学科	ゴムからアブラヤシへ ：マレーシアに見る脱植民地過程の連続性・不連続性
2	大塚 修	准教授	東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻	ガージャール朝時代イランにおける普遍史の変貌とイラン人意識
3	岡本 真希子	准教授	津田塾大学学芸学部国際関係学科	植民地期台湾における司法通訳の歴史学的研究 －多言語社会の裁判と言語－
4	小川 佳万	教授	広島大学大学院教育学研究科	台湾の歴史教育からみた台湾市民像の特質
5	加藤 政洋	教授	立命館大学文学部地域研究学域	〈孤島-都市〉としての南大東 －モノカルチャー経済と移住労働者をめぐる歴史地理－
6	朱 琳	研究員	中部大学中部高等学術研究所	日中近代思想の歴史像と連鎖
7	橋本 順光	教授	大阪大学大学院文学研究科（比較文学専修）	諜報記録にみるインド独立運動家とアジア主義者の交流とその表象
8	福田 円	教授	法政大学法学部国際政治学科	中国の対台湾統一戦線工作の形成と発展
9	堀井 聡江	准教授	桜美林大学リベラルアーツ学群	イスラーム訴訟法の歴史的基礎研究
10	宮原 暁	教授	大阪大学グローバルイニシアティブ・センター	東南アジア華僑・華人文学が生み出す対話の可能性 －オラリティとリテラシーのはざままで